

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp
 地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>
 例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
 事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第34回(通算3074回)2026年(令和8年)5月12日号

本日の例会 (5月12日)
「ライブとトーク」
シャンソン歌手 じゅGON 様

次回の例会 (5月19日)
「活動写真の魅力を大公開」
活動弁士 坂本頼光 様

4月28日の例会報告
会長の時間

もうすぐゴールデンウィークということで、皆さん、楽しい計画を立てておられるかと思えます。5月12日(火)の5月第1例会では、元気な顔を拝見させていただきたいと思えます。

4月26日(日)、第2650地区の危機管理研修会がZoomで開かれました。これに私と木原幹事、次年度会長・幹事が参加いたしました。主なテーマは、危機管理の体制の作り方でした。要は、全会員が危機管理について興味を持っていただきたいという内容でございました。

当クラブでも内規はできましたが、それは事件・事故をどう処理するかという体制の決まり事として、その前にまずは起こらないようにするにはどうしたらいいかを考える必要があるというお話が講演の中でございました。そこで講師の方がおっしゃっていたのは、無意識なバイアスに気をつけることということでした。我々にはそれぞれ、物事に対して偏見とか先入観がございます。その先入観によって、心は揺れ、判断を誤る場合が多いそうです。世代間、男女間などの違いで偏見を持っていますので、そこを意識するだけで、かなり事件・事故などを防止できるというお話でした。

会員の皆様におかれましても、危機管理は我々一人一人の問題であるということを理解していただき、これからのよりよいロータリーを作っていただければと考えております。

幹事報告

- ◎理事会のご案内
4月28日(火)例会終了後
- ◎クールビズのご案内
5月12日(火)次回例会よりクールビズの予定です。

◎委員会別情報集会のご案内
5月12日(火)A班
次年度幹事報告 藤井宏典次年度幹事
6月2日(火)、第2回アッセンブリーを開催いたします。次年度委員長の皆様、5月12日(火)の理事会までに各委員会の方針等をお出しいただきますようによろしく願いいたします。

ゲスト
元塚敏彦様(NPO法人21世紀フォーラム 卓話講師)
澤田啓二様(NPO法人21世紀フォーラム)

誕生日祝
川中光教会員(5月 2日) 木下庄司会員(5月 5日)

結婚記念日祝
吉田 暁会員(4月30日) 中井隆男会員(5月 1日)
桑 雅宣会員(5月 2日) 山田 博会員(5月 4日)
丸野正徳会員(5月 4日) 竹村恵史会員(5月 5日)
田中康正会員(5月 5日) 中堀克己会員(5月 5日)
船木克容会員(5月 8日) 吉村元嗣会員(5月 8日)
川村英亮会員(5月10日)

創業記念日祝
村野淳二会員(4月22日) 黒松 健会員(4月30日)
村井善治会員(5月 1日) 垣本喜己会員(5月 2日)

喜寿祝
川中光教会員

ニコニコ箱
・高木美香会員、おめでとうございます。元塚敏彦様、蹴鞠、楽しみにしています。 山田 博会員
・元塚敏彦さんをお迎えて。高木さん、70周年おめでとうございます。 安田志郎会員
・えんどう豆のシーズンになりました。ゴールデンウィーク、皆様楽しんでください。元塚敏彦さんをお迎えて。 木原常裕会員
・いやいやニコニコに協力します。 岡本吉行会員
・おかげさまで念願の東証に上場することができました。ありがとうございます。 吉田 暁会員
・4月14日練供養、晴れて厳修できました。

川中光教会員
木下庄司会員
吉村元嗣会員
桑 雅宣会員
・お誕生日祝を頂いて。
・ニコニコに協力。
・結婚記念日祝を頂いて。 桑 雅宣会員
・個人的なことですが、先日は大変お忙しい中を新スタジオ竣工式及び70周年にお越しいたいただき、ありがとうございました。これからも頑張ります。
高木美香会員

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]
1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか

- ・奈良の蹴鞠の神髓をお伝えください。楽しみにしています。清水良彦会員
- ・南輪会のゴルフコンペ、バスグロ優勝させていただきました。ありがとうございます。垣本喜己会員
- ・南輪会ゴルフコンペにて、クラブ対抗戦で優勝しました。趣味の会委員会から参加いただいた方に感謝申し上げます。結婚記念日祝を頂いて。川村英亮会員
- ・梅の宿酒造様、上場おめでとうございます。一ノ坪英二会員

卓話 「悠久の時空を超えて蘇る万葉蹴鞠」

NPO法人21世紀フォーラム 元塚敏彦様



奈良県立万葉博物館が明日香村にございますが、そこに屏風があります。その屏風には、当時の遊びとして、蹴鞠、打毬(だきゅう)、双六などが描かれています。打毬というのは、今で言うホッケーのような遊びだったようです。中大兄皇子と中臣鎌足が出会ったという蹴鞠の儀式は、日本書紀では「打毬」と記されていますが、皇子の靴が脱げて飛んだことが二人の出会いとなったということから、実際は蹴鞠をしていたのだと考えられます。そんなことから、我々は蹴鞠制作委員会を作り、万葉蹴鞠を推定復元していこうということになりました。

万葉博物館に尋ねてみますと、古代からの遊びの内容を、発掘などで詳しく特定するのは非常に難しいということでした。この屏風に描かれている内容も、博物館で完全に推定して描いたものになります。身につけている衣装については、奈良時代、平城京に都があった頃のものであります。衣服令という法律に基づいたものになっております。当時は位によって衣装が色で区分されていました。

お配りしたリーフレットの写真は、宇和島城や東大寺、飛火野、長居陸上競技場などで万葉蹴鞠を披露したときのものです。こうしたイベントに奈良県などの協力を得て参加しております。こうして多くの方に写真や動画に収めていただくことで、発信・普及を図っております。

私どもは万葉蹴鞠をゼロから作ったわけですが、まずは枠組みを決めないといけません。その枠組みの前提条件として、次のようなことを共通理解としました。

まず1つ目は当時の時代背景についてです。蹴鞠は大陸、朝鮮半島を経由して、飛鳥時代に入ってきたと考えられます。国内・国外が緊張した大変な時代であったということは、皆様もご存じかと思えます。朝鮮半島において、百済と日本は非常に友好国というか、兄弟以上の関係を持っていましたが、百済が滅亡して新羅が朝鮮半島を治めるようになり、その後ろ立てが隋から唐に変わりますと、いよいよ日本に攻めてくるのではないかと考

えられました。九州や島根辺りに防人を派兵し、柵を作るなど、防衛ラインを整えておりました。

そんなときにどんな蹴鞠をしたかを考えました。そんな緊張状態ですので、京都に伝わる蹴鞠のように、輪になって鞠をポンポンと蹴り上げて、しかも相手に蹴りやすく渡す、それが上手にできる人が蹴鞠の名人だという、そういうふうな蹴鞠とは違ったのではないかと考えました。もっと戦闘的な、2チームによって対戦する対戦型の蹴鞠であったのではないかと考えました。飛鳥時代の様子から、非常に厳しい、軍事訓練に近い、そういうふうな蹴鞠であって、勝敗も競うものだったのではないかと考えています。

個人技の披露については、これは京蹴鞠の鞠さばきの所作を意識しました。また、服装についても帯びの結び方なども含めて時代考証をしっかりとしようと考えました。

さらに、発信・普及を意識していこうといたしました。先ほども言いましたように、例えば東大寺での光明皇后の法要の際には、本当にたくさんの方に写真を取っていただきました。後で写真やビデオで我々の衣装を見て「こういうのが奈良時代の衣装なのか」と考えられ、残っていくということです。蹴鞠制作委員会にご参加いただいた大学等の先生方にお知恵をお借りして、時代考証に基づいた衣装、所作を慎重に検討し、当時の歴史を知ってもらえるようにいたしました。

最後に、コート設営が容易であることも大切であると考えました。これは普及を考えると大事なことだと思います。万葉蹴鞠を子供たちにやってもらう際に、コートを作るのが非常に難しいようでは大変です。また、鞠についても、蹴鞠に特化した専用の鞠でなくても、バレーボールや一番小さいサッカーボールでも良いと思います。

そこで、バレーボールコートをまず基準にしようと考えました。日本国内では、ほとんどの体育館でバレーボールコートは既に線が引かれています。バレーボールコート大きさは9m×18mで、9mと9mの正方形が2つくっついています。ですので、万葉蹴鞠をやるときには、バレーボールのコートが正規の万葉蹴鞠のコートと同じ大きさになります。

もう一つの基準として、ソフトバレーボールがあります。バドミントンのコートの大きさですが、これもいいのではないかと考えました。少し小さいので、人数を減らして行きます。こういったことを考えて、万葉蹴鞠を推定復元しています。

私はこの「推定復元」の「推定」を取ってはいけないと思います。何か発掘して出てきたもの、こんな古い書物に書いてあったとか、そういうことはありませんので、あくまでも推定であるということです。

このように、奈良の観光資源の一つとして、奈良21世紀フォーラムでは、今後も万葉蹴鞠を続けていきたいと思っております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
4月28日	85	55	49	6	2	30	22	0	94.80%
4月14日	85	55	48	7	5	30	23	0	97.44%
4月7日	85	55	43	12	6	30	24	0	92.41%

※食品ロスの削減に努めましょう。(4月14日の弁当残数は4個)

2026～2027年度 委員会構成及び委員

第2650地区	地区・会員増強拡大委員会	委員	鈴木勝士
	地区・財団資金推進委員会	委員	喜多輝昌
	地区・職業奉仕委員会	委員長	村島靖基
	地区・職業奉仕委員会	委員	川中教正

情報集会班別	委員会名	委員長	副委員長	委員（五十音順）
A	会員増強 会員選考 職業分類 ロータリー情報	山田 博 寺田 俊彦 鈴木 勝士 林 輝一	吉村 定義 甲村 侑男 丸野 正徳	(関係各委員長) 吉田 暁 村島靖一郎 木原 常裕
	公共イメージ 会報・資料 雑誌・IT	池木 啓仁 堀内 邦郎 一ノ坪英二	鵜山 洋子 吉岡 寛人	(関係各委員長) 川村 英亮 世古千代子 高橋 正典 俵本 和実 安田 志郎 山下 精久 喜多 輝昌 河村 憲一 廣橋健次郎
	会 計	林田 光治	佐藤 佳雄	
	S. A. A.	當麻 泰己	杉村 喜之	吉井英一郎
B	管理運営 出 席 親 睦 プログラム ニコニコ箱 健康管理 趣味の会	杉垣 輝樹 吉村 始 酒本 將稔 松村 實昭 松村 裕玄 中堀 克己 白井 健雄	山下 精久 下村 敏博 桑 雅宣 酒本 良司 池田 定嗣 吉岡 弘修	(関係各委員長) 鵜山 洋子 清水 良彦 松倉 圭吾 吉田 太郎 酒本 良司 佐藤 佳雄 高木 美香 中川 和久 布施 隆教 吉岡 弘修 柘岡 進 村井 善治 山田 幸雄 吉村 忠雄 松倉 圭吾 吉川 雅章 吉田 太郎 竹村 恵史 東辻 英郎 堀川 巳清 船木 克容 脇本 吉清
	奉仕プロジェクト 職業奉仕 社会奉仕 青少年奉仕 ローターアクト 国際奉仕 米山奨学会	牧浦 徹 垣本 喜己 射場 祥行 木下 庄司 山本 忠行 上田 麻子 村野 淳二	川村 英亮 西田 陽昭 清水 良彦 布施 隆教 中井 謙之 吉川 利幸	(関係各委員長) 川中 教正 高橋 正典 田中 康正 中井 謙之 吉井英一郎 高木 美香 中井 隆男 中川 和久 中堀 克己 中井 俊之 村井 善治 吉岡 寛人 桑 雅宣 西田 陽昭 吉川 利幸 吉村 始 黒松 健 西川 均 村島 靖基 村野 淳二 安田 志郎 檜根 正起 川中 光教 俵本 和実
	ロータリー財団	平岡雄一郎	枚村 喜芳	岡本 吉行 出川 裕一
	研修・規定	吉川 雅章	木原 常裕	丸野 正徳

2026～2027年度 役員及び理事会メンバー

役職名	役員
会 長	辻 修
直 前 会 長	山田 博
会 長 エ レ ク ト	牧浦 徹
副 会 長	杉垣 輝樹
幹 事	藤井 宏典
会 計	林田 光治
S . A . A .	當麻 泰己
役員候補	
副 幹 事	瀧本 栄一
副 会 計	佐藤 佳雄
副 S . A . A .	杉村 喜之

理事会メンバー	
辻 修	(会 長)
山田 博	(直前会長 / 会員増強)
牧浦 徹	(会長エレクト / 奉仕プロジェクト)
杉垣 輝樹	(副会長 / 管理運営)
池木 啓仁	(パスト会長 / 公共イメージ)
垣本 喜己	(職業奉仕)
射場 祥行	(社会奉仕)
上田 麻子	(国際奉仕)
木下 庄司	(青少年奉仕)
平岡雄一郎	(ロータリー財団)
林田 光治	(会 計)
藤井 宏典	(幹 事)

クラブ長期ビジョン検討委員会

委 員 長	池木 啓仁	(パスト会長)
副委員長	山田 博	(直前会長)
委 員	村井 善治	(パスト会長)
委 員	脇本 吉清	(パスト会長)
委 員	辻 修	(会 長)
委 員	杉垣 輝樹	(副 会 長)
委 員	牧浦 徹	(会長エレクト)
委 員	藤井 宏典	(幹 事)
委 員	瀧本 栄一	(副 幹 事)
委 員	林田 光治	(会 計)
委 員	佐藤 佳雄	(副 会 計)
委 員	吉川 雅章	(研修・規定委員長)